

介護エッセイコンテストで「知事賞」を受賞しました。



受賞者へのインタビュー

★今の気持ちは？

知事賞を受賞できたことに感謝しております。11月11日の介護の日には表彰式があり、その後レディオベリーの福祉番組(キラキラ☆KAIGO ビト)で、作品の紹介とインタビューを受けました。実際の介護現場で私が体験した出来事を、広く皆さんに知ってもらえたことも、大変嬉しく思いました。

★何が受賞の決め手になったと思う？

仲睦まじいご夫婦が、また一緒に暮らせるようになるという、ドラマチックな展開が印象的だったと思います。その物語をさりげなく支えたものは、「計らい」と「連携」でした。

カトレアと法人グループの沼尾病院が舞台となりましたが、チームケアの円滑さは、日頃から連携が取れているからこそ。ご夫婦の幸せを、チームで支える事ができたことも、評価の対象となったのではないかと考えております。

★受賞を機に、これからあなたの役割として何がしたい？

一般的に、介護現場は大変そう。というイメージが強いかもしれません。

ですが、これまでの利用者様との関わりの中で、喜びや感動もたくさんありました。そうした体験を、これから介護の仕事に就きたいと思っている方や、介護を経験していく方々の勇気づけになるよう、今後、様々な形で介護の魅力を発信していけたらいいな、と考えております。

介護士は利用者様に一番近い存在です。これからも、寄り添う気持ちを大切に介護をしていきたいと思っております。

作品へのリンクはこちらから。



[「介護エッセイコンテスト表彰式」及び受賞作品について \(tochigi.lg.jp\)](http://tochigi.lg.jp)